

千葉県言語聴覚士会ニュース

N0.3 2002年5月7日

一年間を振り返って

千葉県言語聴覚士会会长 村西 幸代

2001年6月10日千葉大学附属病院において千葉県言語聴覚士会設立総会が開催されてから、もうすぐ1年になります。この間、県士会は試行錯誤を繰り返しながら多くの活動に取り組んでまいりました。ここで、この1年間を振り返り皆様のご協力に深く感謝を申し上げますとともに、今後の課題をご一緒に考えて参りたいと存じます。

会則にあります「会員の資質の向上に資する事業」と致しまして、学術局は2回の研修会を実施し、多くの会員・会友の皆様にご参加頂きました。自らの資質を向上させることは、利用者に質の高い専門的サービスを提供することに直結しています。そして、言語聴覚士の社会的地位を確立することにもつながっています。今後も、学ぶ場の提供に努力して参ります。

「言語聴覚士の社会的地位の確立に資する事業」の手始めとして、千葉県内に勤務する言語聴覚士の社会的現状を把握することに致しました。社会局に実態調査委員会を立ち上げ、会員の皆様のご協力のもとにアンケートを実施し、第2回総会で結果をご報告する運びとなっております。また、広報部では、県士会のホームページを開設するとともに広報用

パンフレットを作成し、公開いたしました。事務局総務部、編集部では、県士会ニュース及び会員・会友名簿を作成、発送し、組織の拡充に努めました。

言語聴覚士の社会的地位の確立に大きくかかわる制度の変化が、今年4月に医療保険における診療報酬改定によってもたらされました。言語聴覚療法が理学療法、作業療法と同等の保険点数となったことは、関連する他職種と足並みがそろったという点で喜ばしいことです。しかしながら、施設基準を満たさねばならない条件が付いたため、勤務する施設の現状によっては条件を満たせず、言語聴覚士としての十分な活動が困難になった施設も出てきました。情報の収集を行なながら、施設側のご理解を得るための努力を行ってまいりたいと存じます。

「行政や関連する諸機関・団体との連携」については、残念ながら今のところはかばかしくありません。県が設置しております「地域リハビリテーション協議会」へは未だ参加できておりませんし、市町村が主体となる「介護保険制度」の中でも関連する他職種と足並みをそろえるところにまで至っておりません。今後も関係機関へ働きかけて参ります。

この1年間の活動が来年度につながり、地域に根ざした会として一層充実した活動が行えますよう、皆様と共に力を合わせて参りましょう。

千葉県言語聴覚士会第2回総会のお知らせ

日時：平成14年6月2日（日）

13時～17時

場所：千葉大学附属病院3階 第3講堂

【設立1周年記念講演】

講師：宇野 彰 先生

国立精神神経センター精神保健研究所室長
(言語聴覚士、医学博士)

テーマ：「読み書き障害のある子供」と「脳損傷で失語症になった成人」の訓練法～障害された経路への直接的アプローチで困難な時はバイパス経路を使おう～

【特別報告】

「実態調査結果報告」

「全国組織との連携について」

「診療報酬改定について」

* 詳しくは別紙をご参照ください。

第2回研修会報告

平成14年2月17日(日)都立駒込病院 リハビリテーション

科 矢守麻奈先生を講師としてお招きし、千葉大学附属病院第2講堂において「脳卒中の摂食・嚥下障害 - 臨床の実際 - 」研修会を開催しました。講演会の参加者は120名、そのうち会員は50名、一般者、学生は70名でした。



アンケート結果

回収 66

(1) 研修会に参加して

・とても良かった 60

・普通 5

・期待していた内容と異なった 1

理由：現症が生じている原因や嚥下の整理、神経支配などの説明もあると思っていた。

(2) 研修会の感想（一部掲載）

<講演会>

- ・基礎知識の再確認ができたよかったです。看護婦さんへの申し送りや家族への説明の参考になった。
- ・わかりやすく説明していただき、理解不十分だった部分が補足できました。
- ・臨床場面での観察ポイントを話していただき自分の施設でできる範囲の事を考えていく機会になりました。
- ・実例に即してお話ししていただけてわかりやすい。訓練についての時間がもう少し長いとよかったです。
- ・実践に使える必要な知識が、すっきりわかりやすかったです。
- ・内容が盛りだくさんで1日のみの開催にするにはもったいないと思った。
- ・説明、実践、ビデオ等うまく組み合わせてあり楽しく勉強できた。
- ・高次脳機能障害との合併など教科書的には訓練できない症例への対処法などが聞けてよかったです。
- ・実践的でわかりやすかったです。基礎編に続いて応用編の講演会もやってほしい
- ・検査用具だけに頼らず、普段の観察やどんな視点

から障害の兆候を見られるのかと言う点も大変勉強になった。

- ・飲み込みのST評価をしたことがなく、むせたらすぐには経管栄養へと移行していた。かなり参考になった。
- ・他職種との連携の時間が短くて残念だった。
- ・意識障害のある患者さんのオーダーが来て悩んでいた。今回食事は意識清明でなくてはというお話があり納得できた。当たり前のことではあります。なかつたことが多く、今回参加できてよかったです。

<実習>



- ・綿棒を使ったり、
聴診器を使ったり、
わかりやすかった。
「ごっくん」の音
を聞くのは初めて

だった。頸部聴診法を取り入れてみようと思った。

- ・冷却刺激のときに、患者さんの好みの味をつけて、
といったことは今まで行っていなかったので参考になった。

- ・聞いているだけより、ずっとわかりやすくなった。

- ・時間が短かった。

- ・まず健常者の状態
を知っておくことは
大切だと思うの
で、今回経験でき
てよかったです。



- ・やり方について詳しくペーパーで欲しかった。
- ・参加者同士、もっと感覚の違いや嚥下音の聴診を

した感想を話してみると情報交換できるよかったです。

アンケートのご協力ありがとうございました。今後の研修計画に役立てたいと思います。(学術局)

その他の感想については以下の URL に掲載されています。

<http://www.iris.dti.ne.jp/~takenaka/info6.htm>

学術局から

1. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。希望者は下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5 または A4 サイズ）に住所、
氏名を書き、切手（ビデオ 1 本 270 円、2 本 390 円）
を貼って送ってください。

あて先：〒261-0003 千葉市美浜区高浜 4-8-3

千葉市療育センター やまびこルーム 高橋典子

TEL 043-279-1141 FAX 043-277-0220

貸し出しビデオ：

1 「ST がおこなう高次脳機能障害の臨床」

講師 鈴木 勉先生 東京都立墨東病院

リハビリテーション科言語聴覚士

2 「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」

講師 長澤 泰子先生 日本橋学館大学

3 「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」

講師 矢守麻奈先生 都立駒込病院

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデ

オテープの代金を弁償していただきます。

2. 勉強会のご案内

「食事介助にかかる方々への嚥下障害教室」

高齢者や寝たきりの方のより安全な食事のために -

目的：摂食・嚥下障害に関わっている関連職種の

スタッフ、患者さんとその家族、介護者など
が一堂に会して研修と情報交換を行い、一人
でも多くの方が安全に楽しく食事をするこ
とができるよう検討します。

日時：平成14年6月8日（土）

午後1時半～午後3時45分

場所：千葉労災病院 看護学校講堂

定員：先着200名

参加費：無料

申込方法：参加希望者はお一人様又は家族、グループにつき1枚の葉書又はFAXに郵便番号、住所、氏名、参加人数、電話番号、所属、職種等、質問希望事項（ある場合）を明記の上、下記までお申し込みください。

申込期限：平成14年5月25日（土）消印有効

主催者：千葉労災病院嚥下障害検討会

申込先及び問合せ先：

〒290-0003 市原市辰巳台東2-16

千葉労災病院 リハビリテーション科 ST 安田清

FAX：0436-74-1151

なお、お問い合わせはFAX又は葉書にてお願い
します。（お電話はご遠慮ください。）

1. 新診療報酬改定・施設基準について

2002年4月1日より診療報酬が改定されました。

医療制度を構成するすべてのシステムの転換が必要とされ以下の3点を柱としています。保健医療システムの改革 診療報酬体系の改革 医療保険制度の改革。今回、言語聴覚療法は、リハビリテーションの体系的見直しがなされた中で、理学療法・作業療法と同一の診療報酬点数となりました。

言語聴覚療法に関するところを要点だけあげてみます。

リハビリテーション医療は、基本動作能力回復等を目的とする理学療法や、応用能力、社会適応能力の回復等を目的とした作業療法、言語聴覚能力の回復等を目的とした言語聴覚療法等の治療法より構成され、いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われるものである。

実施時間の新基準 個別療法・集団療法・
(1単位20分)

個別療法：PT・OT・ST各1日3単位以内

集団療法：1日2単位かつ1月8単位以内

算定回数制限の導入

厚生労働大臣が定める患者：1日合計6単位以内
それ以外の疾患：1日合計4単位以内

個別療法 11単位 / 月以上は 70 / 100

同一の患者に個別療法と集団療法を同一日に
実施した場合個別療法のみ算定

ST 1名が1日実施可能単位数：個別 18 単位

集団 54 単位

社会局から

実施記録

機能訓練の内容の要点および実施時間（開始時刻と終了時刻）を診療録等へ記載すること

言語聴覚療法

言語聴覚療法は、失語症、構音障害、言語発達障害、難聴に伴う聴覚・言語機能の障害、又は人工内耳埋込術等の言語聴覚機能に障害を持つ患者に対して言語機能又は言語機能に係わる訓練を行った場合に算定できるものである。言語聴覚療法は、医師の指導監督のもとで行われるものであり、医師又は言語聴覚士（平成15年3月31日までの間は、言語聴覚士法（平成9年法律第132号）の施行の際（平成10年9月1日）現に病院、診療所その他同法付則第2条に定める厚生労働省令で定める施設において適法に同条第2条に規定する業務を業として行っていた者を含む。）により実施された場合に算定する。

医師による効果判定

言語聴覚療法の実施に当たり、医師は言語聴覚機能能力に係わる検査をもとに 言語聴覚療法の効果判定をし 言語聴覚療法実施計画作成 言語聴覚療法の開始時及びその後3カ月に1回以上患者に対し当該言語聴覚療法実施計画の内容を説明し 要点を診療録へ記載する。

言語聴覚療法（言語療法名称変更）

言語聴覚療法（1単位20分）

個別療法（1単位）250点

集団療法（1単位）100点

言語聴覚療法（1単位20分）

個別療法（1単位）180点

集団療法（1単位）80点

言語聴覚療法 及び については厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方社会保険事務局長に届け出た保険医療機関において行われる場合に算定する。

施設基準

《言語聴覚療法に関する施設基準》

専任の常勤医師が1名以上勤務すること。

専従する常勤言語聴覚士が3人以上勤務すること。

専用の療法室を有していること。

個別の療法室（ 8m^2 以上×3室以上）と集団療法室（ 16m^2 以上×1室以上）を有し、車椅子、歩行器・杖等する患者が容易にかつ安全に入り出で可能で、遮音等に配慮した部屋

《言語聴覚療法に関する施設基準》

専任の常勤医師が1名以上勤務すること。

専従する常勤言語聴覚士が1人以上勤務すること。

専用の療法室を有していること。個別の療法室（ 8m^2 ×1室以上）と集団療法室（ 16m^2 ×1室以上）を有していること。

言語聴覚療法 にあるように患者に配慮した部屋であること。

《言語聴覚療法に関する共通の施設基準》

必要な器械・器具

簡易聴力スクリーニング検査機器、音声録音再生装置、ビデオ録画システム、各種言語・心理・

認知機能検査機器・用具、発声発語検査機器・用具、各種診断・治療材料（絵カード他）リハビリテーションに関する記録（実施時間、訓練内容、担当者等）は患者毎に同一ファイルとして保管され、常に医療従事者により閲覧が可能であるようにすること。

なお、耳鼻咽喉科学的検査、臨床心理・神経心理検査については別の条件があります。不明な点がありましたら、社会局までお問い合わせください。

問い合わせ先

社会局 畠木 美恵子

千葉リハビリテーションセンター

TEL : 043-291-1831 (内 261)

FAX : 043-291-1857

2. 実態調査委員会について

本委員会では、千葉県内における言語聴覚士の職務内容と、職務上の問題点を把握し、今後の県士会活動の指針を探るため、常勤もしくは非常勤として千葉県内の医療、福祉、保健、教育等の施設に勤務している有資格者の方を対象に「千葉県内における言語聴覚士の業務に関する実態調査」を実施いたしました。会員の皆様には、ご多用の折、本調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

最終的な調査票の送付数は 201 通、回答者数は 111 名、回収率は 55% でした。調査票の集計作業はすでに終了し、現在はデータの分析とまとめの作業を行っております。調査結果は第 2 回総会にて発表させていただきます。

3. ホームページのURLの変更について

2002 年 3 月 31 日以降、ホームページの表紙用として利用していた無料ホームページサービスの運用停止に伴い、http://users.goo.ne.jp/c_rst にアクセスできない事態が生じました。

無料ホームページサービスの終了につきましては、サービス提供会社より事前に告知を受けておりましたが、手続き上の不手際により、新 URLへの移行ができませんでした。この間に診療報酬の改定があり、会員の皆様には迅速な情報提供に支障を来たしたことを心よりお詫び申し上げます。新 URL は次のとおりですので、今後ともよろしくお願ひいたします。

新 URL) <http://users.hoops.ne.jp/crst2002/>

なお、ホームページの中には会員専用ページがありますが、アクセスには下記のパスワードが必要となりますので予めご了承ください。また、このページは Java スクリプトを使用しておりますので、Java の設定を意図的に解除している場合はアクセスできませんのでご注意ください。

パスワード : affordance (半角英数で入力)

事務局から

1. メールマガジン発行について

4 月 30 日にテスト版を発行いたしました。当初の予定より大幅に遅れたことをお詫び申し上げます。メールマガジンは本ニュースを補完するものや、求人情報など速報性の高いものが中心となります。会員のみなさんのご意見やご希望をお待ちしております。

「千葉県言語聴覚士会メールマガジン」

(配信登録・停止 URL)

<http://www.egroups.co.jp/group/CRST-MG>

問い合わせ : CRST-MG-owner@egroups.co.jp

2. 平成14年会費の納入方法について

平成14年度の会費の納入期限は3月末日となります。会員のみなさんは既に送付いたしました振込用紙に必要事項を明記の上、下記へお振り込みくださいますようお願い申しあげます。

会員 入会金 : 1,000円

年会費 : 3,000円

会友 入会金 : なし

年会費 : 2,000円

振込手数料は自己負担となります。振込用紙にて領収書に替えさせていただきます。

振込先

郵便振込 00120-6-39932

口座名義 : 千葉県言語聴覚士会

会費の問い合わせ先

財務部 和泉澤 光子

和田町立和田小学校

299-2703 千葉県安房郡和田町仁我浦8-1

TEL : (0470) 47-2064 FAX : (0470) 47-2790

3. 入会のお誘い

平成14年4月18日現在、千葉県言語聴覚士会の

会員は130名、会友5名です。まだ未加入の方も多数いらっしゃると思います。みなさんのご入会をお待ちしております。もしお知り合いの方が未加入の場合にはぜひお勧めください。また資格を持っていらっしゃらない方も言語聴覚療法に興味ある方であれば会友として入会が可能です。

入会の問い合わせ先

事務局 田辺 佳子

千葉市療育センター療育相談所

261-0003 千葉県千葉市美浜区高浜4-8-3

電話: (043) 279-1141 FAX : (043) 277-0220

現在の会員数 : 会員130名 会友:5名

平成14年4月30日現在

4. 入会申込み事項の変更届けについて

勤務先、住所など入会申し込み書の記載事項に変更がありましたら、入会問い合わせ先と同じ田辺宛までFAXまたは郵送でお知らせください。

理事会の報告

平成13年度第6回 理事会

日時 : 2001年12月18日(火)19時20分~23時00分

場所 : 千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者 : 和泉澤、神作、高橋、竹中、田辺、竜木、根本、村西(以上理事8名)大谷(書記)

. 報告事項

1)会長より

日本言語聴覚士協会・保険委員会より『各地域職能

団体との連携について』

2)社会局より

(1) 広報部

平成13年12月15日に第1回広報部の会議が行われ、その議事録が資料として提出された。

(2) 実態調査委員会について

平成13年12月15日に第1回実態調査委員会が行われ、その議事録が資料として提出された。

3)事務局より

(1) 財務部

現在の出費額が資料として提出された。

. 協議事項

1) 社会局

(1) 広報部

県士会HP上に「言語指導」「言語訓練施設」一覧を掲載することについて。

HP上に掲載する文献について。

会員名簿を作成について。

(2) 実態調査委員会

教育分野からの委員会選出について。

次回委員会の開催時期について。

2) 学術局

(1) 第2回研修会について

(2) 幼児ブロックについての報告

3) 事務局

(1) 県士会ニュースについて

(2) 会員名簿について

(3) 財務部より予算案について

平成13年度第7回理事会

日時：2002年1月30日(水)19時20分～23時00分

場所 千葉大学付属病院 第二会議室

出席者：和泉澤、神作、高橋、竹中、田辺、竜木、根本、村西(以上理事8名)大谷(書記)

. 報告事項

1) 社会局より

(1) 実態調査委員会について

第2回実態調査委員会の報告

2) 学術局より

(1) 学術局会議について

第1回学術局会議の報告

(2) 第2回研修会

3) 事務局より

(1) 財務部より

平成13年度補正予算案中間報告について

(2) メールマガジンについて

. 協議事項

1) 社会局

(1) 実態調査委員会

アンケートの方式について

分野ごとに別個に集計をする件について

アンケートの目的について

委員会より、会議への会長出席の要望

2) 学術局

(1) 小児部と成人部について

(2) 第2回研修会について

3)事務局

(1)財務部より平成13年度予算案について

平成13年度第9回理事会

日時：2002年3月6日(水) 19時30分～23時10分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：神作、高橋、竹中、田辺、竜木、根本、村西(以上

理事7名)大谷(書記)

平成13年度第8回理事会

日時：2002年2月19日(火)19時30分～23時00分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：和泉澤、神作、高橋、竹中、田辺、竜木、根本、村

西(以上理事8名)篠塚(監事1名)大谷(書記)

.報告事項

.報告事項

1)社会局より

1)社会局より

(1)実態調査委員会

実態調査アンケートを発送。計204通の返答があ
った。

第3回、第4回の実態調査委員会の報告

(2)千葉県保健医療計画について

2)学術局より

2)学術局より

第2回研修会報告

(1)第2回研修会アンケート結果の報告

3)事務局より

3)事務局より

(1)財務部

(1)財務部

第2回の補正予算案が提出された。

第1回の補正予算案提出

4)会長より

1)千葉県言語聴覚士会 第2回総会について

(1)日本言語聴覚士協会と地域職能組織との連携に
ついて

2)社会局

.協議事項

(1)実態調査委員会について

千葉県言語聴覚士会 選挙細則

3)学術局

(1)第2回総会 記念講演について

平成13年度第10回理事会

(2)小児部・成人部について

日時：2002年3月20日(水) 19時40分～23時00分

4)事務局

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

(1)財務部より補正予算案について

出席者：和泉澤、神作、高橋、竹中、田辺、竜木、根本、村

(2)賛助会員の広告記事について

西(以上理事8名)篠塚(監事1名)大谷(書記)

2)学術局より

. 報告事項

1)監事より

4月に会計監査を実施する。

2)学術局

(1) 平成14年度活動方針案について

3)事務局より

(1)第3回補正予算案について

(2)平成14年度活動方針案について

(1)平成13年度活動報告

(2)平成14年度活動方針案

3)社会局より

渉外部

(1)平成13年度活動報告

(2)平成14年度活動方針案

(3)リハビリテーション医療における診療報酬改定について

(4)高次脳機能障害支援モデル事業について

広報部

(1)平成13年度活動報告

(2)平成14年度活動方針案

. 協議事項

1)事務局・財務部

(1)補正予算案について

(2)会計監査について

. 協議事項

2)千葉県言語聴覚士会 選挙細則について

3)会友から会員への切り替えについて

4)学術局・研修報告集について

1)会長

日本社会福祉士会全国大会・学会の後援について

千葉県言語聴覚士会 選挙細則案について

2)事務局

財務部

(1)平成13年度補正予算案について

(2)平成14年度予算について

3)学術局

平成14年度活動方針案について

4)社会局

渉外部

(1)平成14年度活動方針案について

広報部

(1)平成13年度活動報告について

(2)平成14年度活動方針案について

. 報告事項

1)事務局より

(1)平成13年度補正予算案提出

(2)平成14年度予算案提出

(3)平成13年度活動報告

(4)平成14年度活動方針案

(1)平成14年度活動方針案について

広報部

(1)平成13年度活動報告について

(2)平成14年度活動方針案について

平成14年度第2回理事会

日時：2002年4月11日(木) 19時43分～23時17分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：和泉沢、神作、高橋、竹中、田辺、竜木、根本、

村西(以上理事8名) 田中(書記)

総会時に地域職能組織と RST 協会の関係に対し、会員との意見交換をする場を設けることが決められた。

当県士会と RST 協会との関係のあり方について会員の意見を広く吸収する準備として、委員会を設置することが承認された。

. 報告事項

1) 事務局より

財務部

(1) 平成13年度決算報告書提出

(2) 平成13年度補正予算案提出

(3) 平成14年度一般会計予算案提出

編集部

(1) 第2回千葉県言語聴覚士会総会議案書について

総務部

(1) 平成13年度年会費納入について

平成13年度年会費の未納入者14名

2) 事務局

財務部

(1) 平成13年度決算報告書について

(2) 平成13年度補正予算案について

(3) 平成14年度予算案について

編集部

(1) 第2回千葉県士会総会議案書について

3) 社会局

広報部

(1) 平成14年度活動方針案について

(2) 平成14年度社会局予算について

2) 社会局より

平成14年度活動方針案提出

平成14年度予算案提出

平成13年度決算及び補正予算

実態調査委員会

第5回実態調査委員会の報告

アンケートの回収率は55%、そのうち会員からの回収率は88%であった。

平成14年度 第3回 理事会

日時：2002年4月18日(木) 19時22分～23時25分

場所：千葉大学医学部附属病院 第2会議室

出席者：神作、高橋、竹中、田辺、竜木、根本、村西(以上理事8名) 田中(書記)

. 協議事項

1) 会長

日本言語聴覚士協会との連携

RST 協会支部(仮称)に関して、協議の結果、

以下の事項が承認された。

. 報告事項

1) 事務局より

第2回千葉県言語聴覚士会総会について

平成13年度補正予算案について

第2回千葉県士会総会について

県士会ニュースについて

県士会総会の台本について

2)学術局より

. 協議事項

1)事務局より

第2回千葉県士会総会資料について

第2回県士会総会について

県士会ニュースについて

第2回学術局会議議事録について

平成14年度活動方針案について

平成14年度第1回県士会研修会について

3)事務局より

第2回県士会総会議案書について

議案書以外の総会資料について

平成14年度役員・部員名簿について

総会までのスケジュールについて

平成14年度 第4回理事会

日時：2002年4月25日(木) 19時25分～23時15分

場所：千葉大学医学部附属病院 第2会議室

出席者：和泉澤 神作、高橋、竹中、田辺、竜木、村西(以上理事7名) 恩田、篠塚(以上監事2名) 田中(書記)

. 報告事項

1)学術局より

第2回学術局会議議事録について

平成14年度学術局活動方針について

平成14年度第1回県士会研修会について

2)事務局より

第2回県士会総会議案書について

他の総会資料について

総会までのタイムスケジュールについて

3)監事より

平成13年度決算報告の表現や金額の詳細に関して

. 協議事項

1)会長より

県士会細則変更について

第2回県士会総会の報告事項について

求人情報

施設名) 医療法人社団誠馨会 加曽利病院

所在地) 264-0017

千葉市若葉区加曽利町 1835-1

勤務形態) 常勤

勤務内容) 成人(失語症・構音障害・高次脳機能障害・嚥下障害)

採用時期) 至急

締め切り)

その他) 経験者希望

連絡先) 043-232-6927

リハビリテーション科直通

担当 OT 菊池 PT 工藤

編集後記

4月は診療報酬改定やら施設基準で大変な年度開けとなりました。ゴールデンウィークに入ってようやく一段落といったところです(あっ!まだ総会の準備がありました)。みなさんの所はいかがでしょうか? (編集部)

事務局

292-8535 千葉県木更津市桜井 1010

君津中央病院 リハビリテーション科 言語療法室

TEL: (0438) 36-1071 FAX: (0438) 36-3867